

令和元年論文式会計学〔午後〕

問題 2 次の〔資料Ⅰ〕～〔資料Ⅲ〕に基づき、以下の **問 1** および **問 2** に答えなさい。

〔資料Ⅰ〕

前期末の個別貸借対照表における純資産の部の株主資本は、以下のとおりである。

(単位：千円)

個別貸借対照表(抜粋)

純資産の部	
I 株主資本	
1 資本金	200,000
2 資本剰余金	
(1) 資本準備金	20,000
(2) その他資本剰余金	2,000
資本剰余金合計	22,000
3 利益剰余金	
(1) 利益準備金	15,000
(2) その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	13,000
利益剰余金合計	28,000
4 自己株式	△ 10,000
株主資本合計	240,000

〔資料Ⅱ〕

当期中に、保有する自己株式 10,000 株(帳簿価額@ 1,000 円)を 1 株につき 700 円で処分し、代金が当座預金に払い込まれた。

〔資料Ⅲ〕

ア. 資本金 イ. 資本準備金 ウ. その他資本剰余金 エ. 利益準備金
オ. 繰越利益剰余金 カ. 自己株式

問 1 〔資料Ⅱ〕の取引の仕訳について、解答欄の()内に適切な勘定科目、()内に適切な金額を記入しなさい。また、その処理を行う理由を自己株式の性格に照らして説明しなさい。なお、仕訳の勘定科目については、〔資料Ⅲ〕に示す勘定科目の記号を解答欄に記入すること。

問 2 当期末に行う株主資本に関する整理仕訳について、解答欄の()内に適切な勘定科目、()内に適切な金額を記入しなさい。また、その処理を行う理由を説明しなさい。ただし、期中の資本取引は〔資料Ⅱ〕の取引以外には発生していないものとする。なお、仕訳の勘定科目については、〔資料Ⅲ〕に示す勘定科目の記号を解答欄に記入すること。